

多久市立病院・小城市民病院の統合の経過について

令和元年 10 月

1 経過

2015(H27).3月 総務省「新公立病院改革ガイドライン」策定

「経営の効率化」、「再編・ネットワーク化」、「経営形態の見直し」、「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」の視点に立ったプラン作成を要請。

2016(H28).8月 「多久・小城地区自治体病院再編・ネットワーク研究会」設置
(全5回)

佐賀県地域医療構想を踏まえた新公立病院改革プランを策定するため、医療関係者、県、両市長、両病院代表者の委員 11 名で構成。

2017(H29).1月 「多久・小城地区自治体病院再編・ネットワーク研究会」報告書
提出

研究会では、人口動態や医療提供体制等を踏まえた視点から、「地域完結型の医療」、「他の医療機関との役割分担」、「地域包括ケア」等、今後の公立病院に求められる機能等の検討が行われました。

報告書では、「今後求められる機能を発揮する公立病院をつくるという観点から、多久市立病院と小城市民病院は、ともに築 30 年を超え老朽化しており、ともに建て替え時期を迎えているこの機を逃すことなく、両病院を統合し新たな病院を設立することが最も望ましい選択肢である」とされています。

2017(H29).3月 「多久市立病院改革プラン」「小城市民病院改革プラン」策定

両病院を統合して、新病院を設置すること目指し、協議を進める方針を定める。

2017(H29).10月 両市長が統合検討の着手を合意

統合の決定にあたり、新病院の建設場所が重要な課題となるため、建設場所（候補地）の選定作業を最初に行うこと等を確認。

2017(H29).11月 佐賀県地域医療構想調整会議中部構想区域分科会で改革プラン
を協議

両病院の改革プランを承認

2018(H30).8月 建設候補地の評価をコンサルタントへ委託

両市合同で建設候補地 5 か所（多久市内 3 か所、小城市内 2 か所）を選定し、客観的な評価を委託。

2019(R1).7月 「多久・小城地区新公立病院建設候補地検討委員会」設置
(全3回)

両病院の統合を目指し、新公立病院の建設候補地の選定を行うことを目的として、医療関係者、両市長、両病院代表者の委員 10 名で構成。

2019(R1).8月 「多久・小城地区新公立病院建設候補地検討委員会」報告書提出

両市民の利便性、医療の地域バランス、中長期的に安定した医療提供体制、経営の安定性の要件を総合的に考慮し、「多久市東多久町羽佐間」を適地とする旨の報告。

2019(R1).9月 「新たな公立病院設立に関する覚書」締結

多久市立病院と小城市民病院を統合し、新病院を東多久町に設立することや費用負担割合等の基本的な条件について合意。

2 今後の予定

2020(R2)年～ 基本構想・基本計画策定
2021(R3)年～ 設計、造成工事、建設工事
2024(R6)～2025(R7)年 開院

候補地検討とその選定について

両市の建設候補地(①~⑤)の中から③に決定

